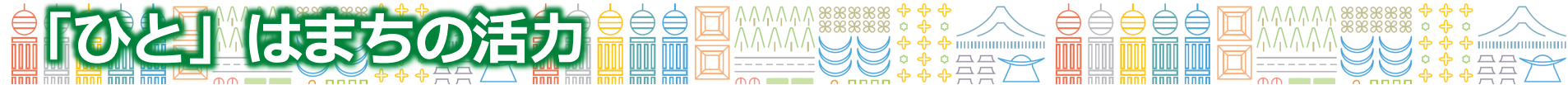


令和7年1月28日
2025年1月 第8回仙台講演会

東北大学と協調した地域創生

～先端的国際都市・仙台を目指したダイバーシティ推進～

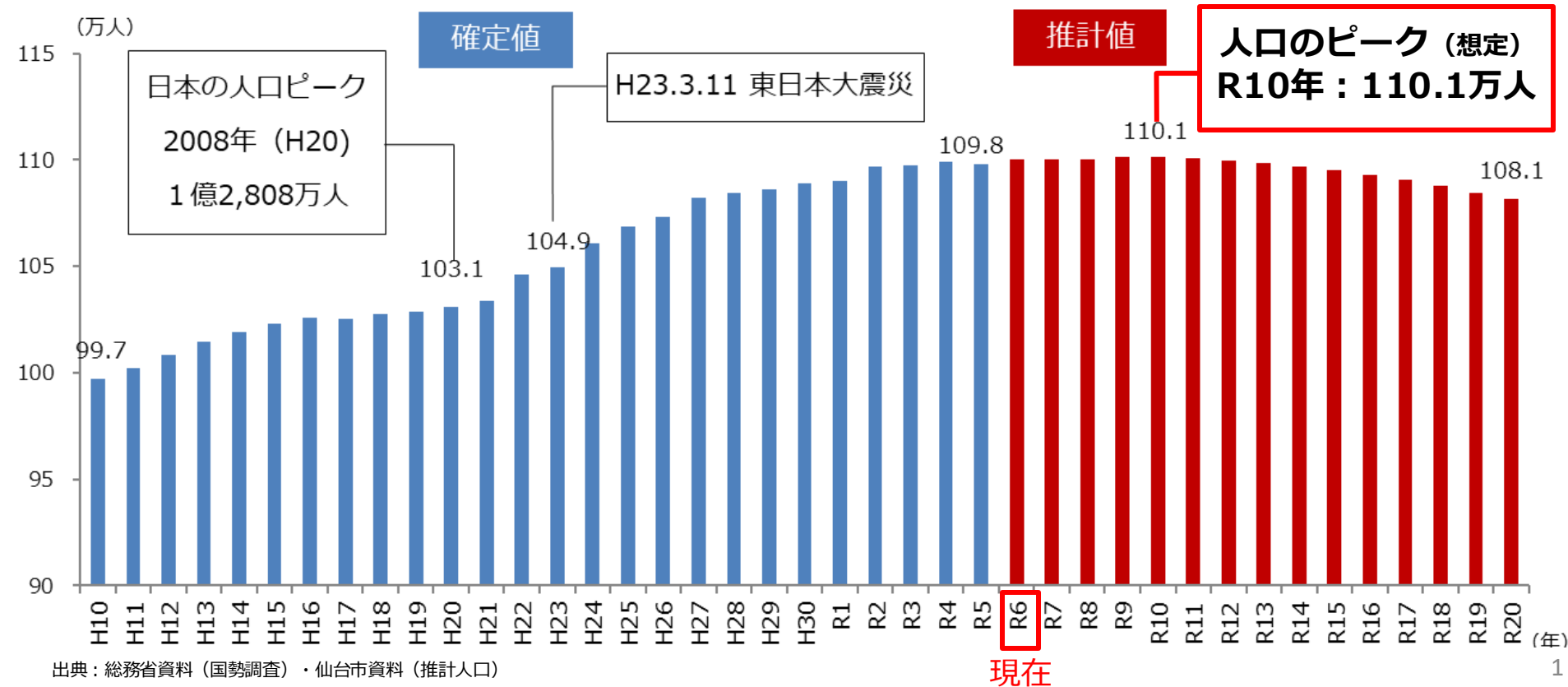
仙台市まちづくり政策局政策企画部長 藤原知明



- 都市は多様なひとが集い、交流し、新たな価値を生み出す場として発展。
ひとの活躍こそがまちの活力を生む
- **人口減少は都市活力低下に直結する課題。**
本市の持続的发展に向けて、**ビジネスや子育てなどあらゆるシーンで「選ばれる」ことが重要**

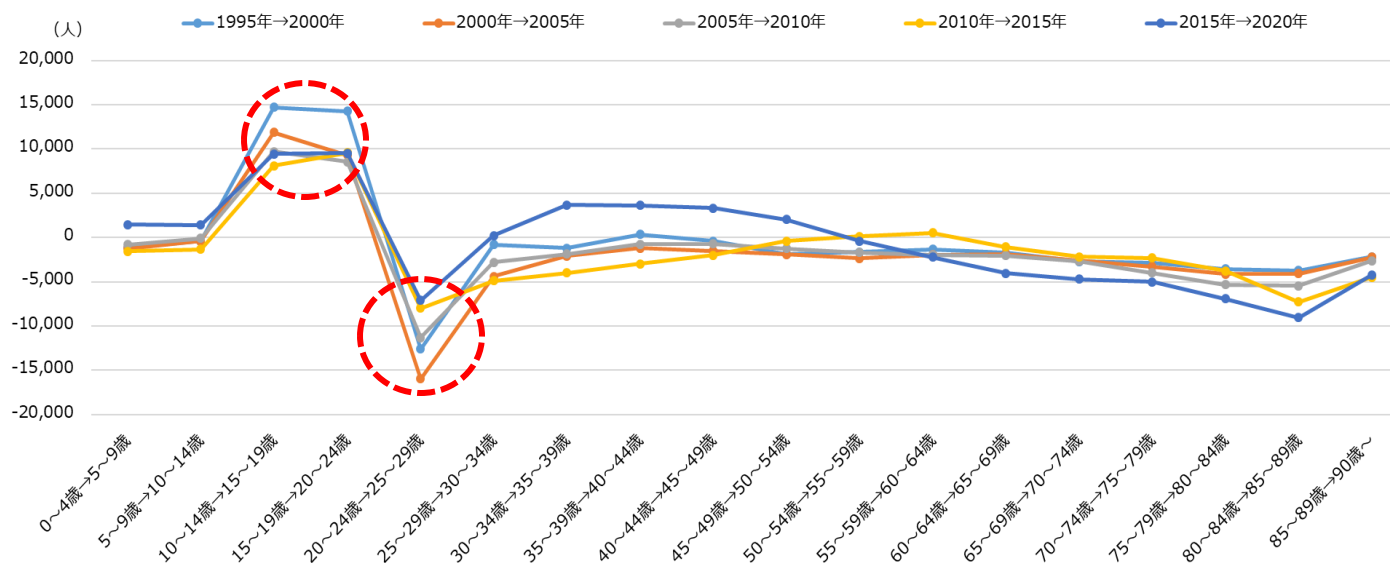


本市の人口推移と将来人口推計



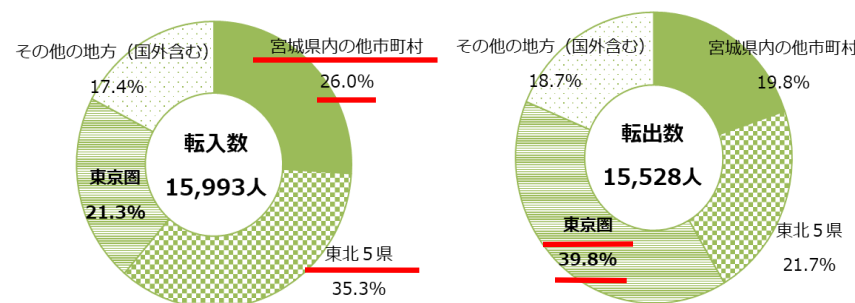
- 本市の5年ごとの年齢階級別人口の増減を見ると、**10～14歳から15～19歳**になるときや、**15～19歳から20～24歳**になるときが**転入超過**であるのに対し、**20～24歳から25～29歳**になるときに**大規模な転出超過**が生じている

本市の年齢階級別人口の時系列分析（国勢調査（総務省統計局）、年齢不詳人口を除く）



- 20歳代の**転入数の約6割**が県内及び**東北5県**から、**転出数の約4割**が**東京圏**となっており、東北各地から若い世代が集まる一方、東京圏へと流出している状況。

転出入の地域別割合—20～29歳（2023（R5）年）
（住民基本台帳に基づく日本人住民人口）



国内外に「仙台」を打ち出す好機



- 東北大学の国際卓越研究大学の認定により、**仙台に今後、世界の研究者やその家族、留学生らが集う**
- この好機に、本市が**東北大学と協調した地域創生の取組**を行うことで、**ひとや投資を呼び込み、交流を拡大して活力を生む**

研究者等の海外高度人材が集う 国際卓越研究大学の将来像（イメージ）

大学ファンドによる支援を通じて、
日本の大学が目指す将来の姿

- 世界最高水準の研究環境（待遇、研究設備、サポート体制等）で、世界トップクラスの人材が結集
- 英語と日本語を共通言語として、海外トップ大学と日常的に連携している世界標準の教育研究環境
- 授業料が免除され、生活費の支給も受け、思う存分、研究しながら、博士号を取得可能

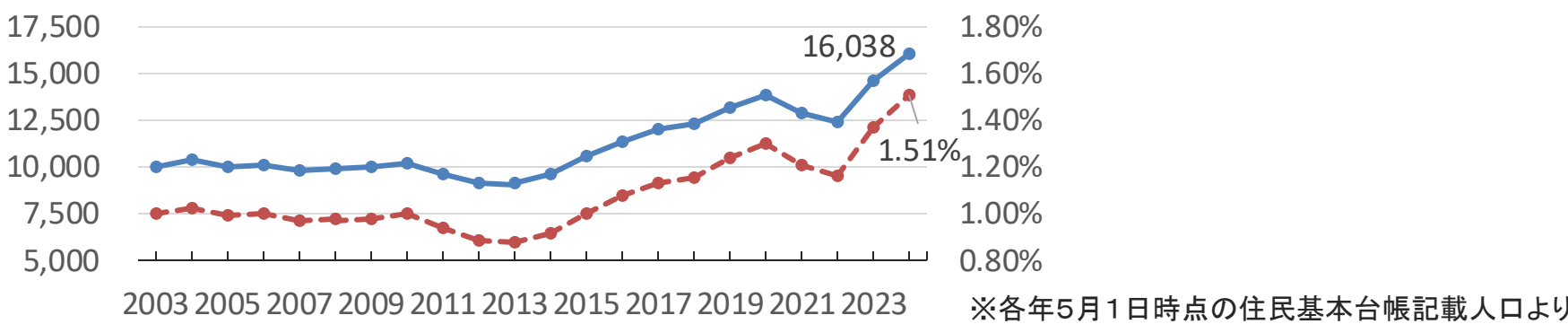


現在の大学

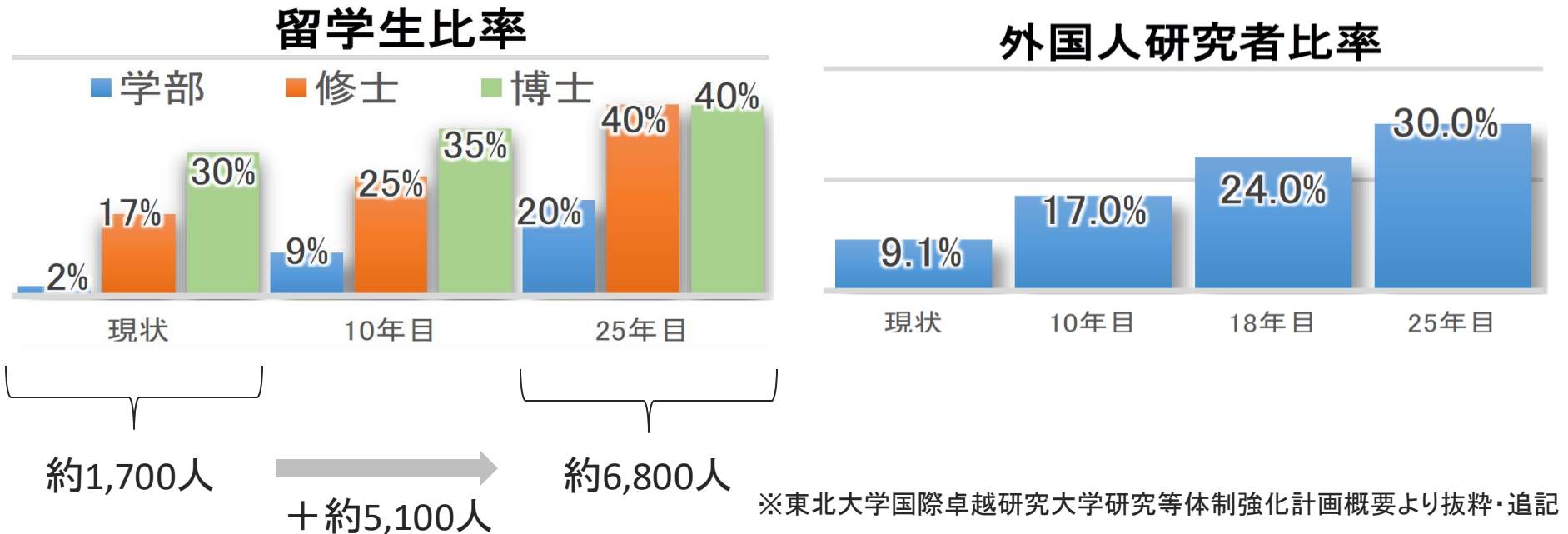


東北大学の国際卓越研究大学認定による影響

仙台市の外国人住民数(左軸・実線)と全住民数に占める割合(右軸・点線)



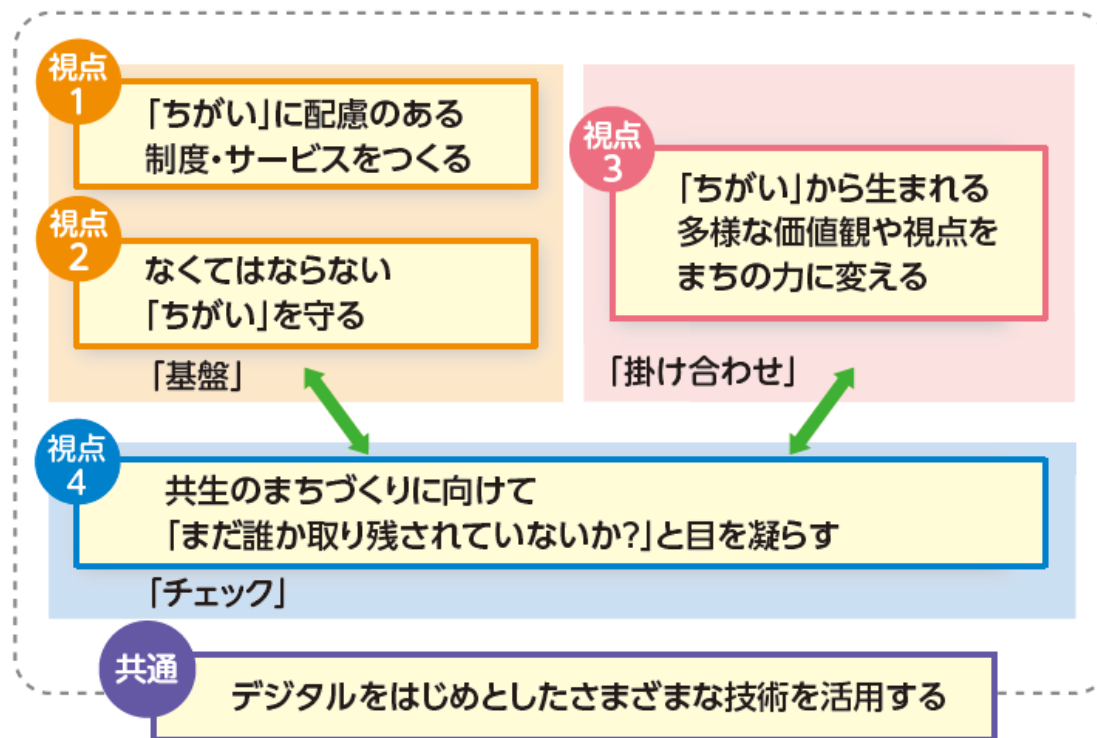
東北大学の留学生・外国人研究者比率の今後の見込みについて



基本的理念

- 仙台の歴史・文化・都市個性の尊重
- 多様な主体の参画
- 地域への展開

取り組みの視点



＜取り組みの視点＞

視点
1

「ちがい」に配慮のある制度・サービスをつくる

ちがいにより不利益を受けたり、排除されたりすることのない社会を目指す取り組みは、ダイバーシティ推進の基本です。さまざまなちがいに対する理解を進め、多様な価値観やニーズを踏まえた柔軟で配慮ある制度やサービス、ルールを整えることにより、誰もが安心して快適に暮らせるまちを目指します。

目指す方向性

- ① 不利益をなくす
- ② 平等だけでなく公平な対応を意識する

<取り組みの視点>

視点 2

なくてはならない「ちがい」を守る

人にはさまざまな属性や立場があり、誰もがちがいを持つ当事者です。
一人一人にどのような価値観や意見・考えがあり、ニーズがあるのかを理解しようとし、互いに尊重されることが重要です。
ちがいへの理解を深める取り組みや、多様な選択ができる仕組みづくりにより、多様性が尊重されるまちを目指します。

目指す方向性

- ① 「ちがい」への理解を進める
- ② 「ちがい」を尊重する

<取り組みの視点>

視点
3

「ちがい」から生まれる多様な価値観や視点を まちのちからに変える

多様な人々が交流し、それぞれが持つ知識や経験、考え方などが掛け合わされることで、新しい発想やイノベーションが生まれ、それがまた新たな人材や投資を呼び込むという好循環につながります。

ちがいを受け入れ、尊重し、良い形で互いに影響し合うことで、ちがいを強みに変え、属性に関わらず誰もが成長の機会と恩恵が得られ、地域全体が成長する包摂的成長(Inclusive Growth)を目指していきます。

目指す方向性

- ① 安心して「ちがい」を表現できる
- ② 対話・交流の場をつくる
- ③ 掛け合わせによりイノベーションを生み出す

<取り組みの視点>

視点
4

共生のまちづくりに向けて「まだ誰か取り残されていないか？」と目を凝らす

人は関心のないことには気づきにくいことから、意識的に「誰か取り残されていないか？」と目を配る必要があります。

取り残されている人への気づきや支援を広げるためには、これまでの市民協働によるまちづくりの積み重ねを生かし、地域の中にさまざまなつながりや支え合いの仕組みを作っていくことが重要です。

視点1から3までの取り組みに加え、視点4により確認と点検を繰り返すことで、誰一人取り残されない社会の実現を目指します。

- ① 実態を見える化する
- ② 無意識の思い込みに気づき固定観念を払拭する
- ③ 安心して暮らせる共生のまちづくりを進める

＜取り組みの視点＞

共通 デジタルをはじめとしたさまざまな技術を活用する

双方向性や即時性といった特徴をもつデジタルなどの技術はコミュニケーションの可能性を広げるとともに、「公平性の確保」や「アクセシビリティの向上」に役立ちます。

多様な人材の知識や経験、価値観の掛け合わせは、新たな技術開発を促す源泉であり、新技術に倫理的・法的・社会的な課題がないか多角的に検証し、信頼性を高めるためにも多様な視点や意見が重要です。ダイバーシティとイノベーションを交差させながら、地域全体の成長を目指します。

- ① データに基づく現状分析と施策立案の循環を生み出す
- ② 市民の利便性向上と参加の促進を図る
- ③ 新たな技術開発を進める

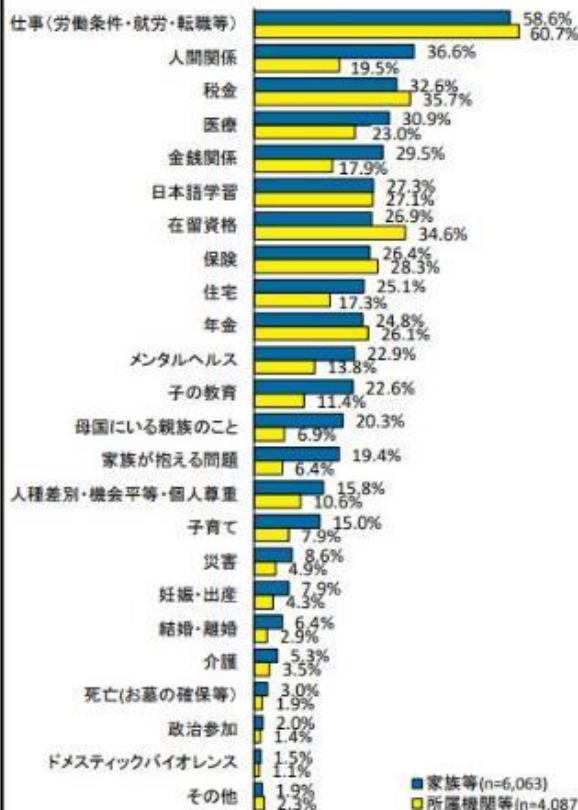
在留外国人が抱える課題について

令和5年度 在留外国人に対する基礎調査－主な結果・外国人④(相談内容・困りごと)－

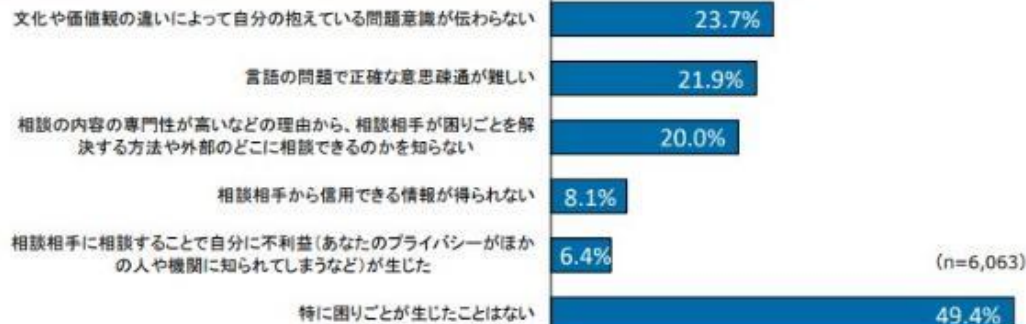


- 困りごとの相談内容では、家族等（家族・親族・友人・知人）に相談した場合、所属機関等に相談した場合ともに「仕事」が過半数を超え、「税金」も割合が高い。家族等に相談した場合は「人間関係」、「金銭関係」等が高いのに対し、所属機関等に相談した場合は「在留資格」が特に高くなっている。
- 家族等（家族・親族・友人・知人）に相談した際の困りごとは「文化や価値観の違いによって自分の抱えている問題意識が伝わらない」（23.7%）、「言語の問題で正確な意思疎通が難しい」（21.9%）の順で多いが、所属機関等に相談した際の困りごととしては「言語の問題で正確な意思疎通が難しい」（36.1%）、「文化や価値観の違いによって自分の抱えている問題意識が伝わらない」（24.7%）の順で多い。

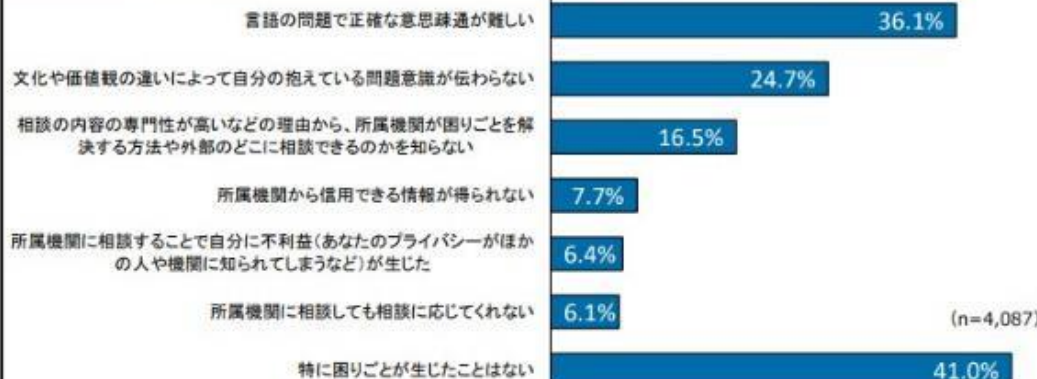
相談内容



家族等に相談した際の困りごと



所属機関等に相談した際の困りごと



出典：出入国在留管理庁 | 在留外国人に対する基礎調査

https://www.moj.go.jp/isa/support/coexistence/04_00017.html

先端的国際都市を目指すためには下記の取組が必要

1. 国際的な教育機関の整備
2. 高度医療機関の整備
3. 国際的な文化都市への変革
4. 高度外国人研究者、家族の生活環境の整備

仙台市立国見小学校国際教室の取組

(設置の経緯)

1984年東北大学国際交流会館が学区内に建設され、外国人児童の受入が増加したため、1992年に国際教室を開設

(学習支援の特徴)

- ・1日2、3時間程度、主に国語・算数・社会・道徳の時間に個別での教科指導・日本語指導
- ・在籍学級のクラスで、児童の隣に座っての学習指導
- ・外国人児童指導支援員による母語での学習指導や生活指導
- ・実技教科や給食などは日本人の児童と一緒に活動

(その他)

- ・宗教食やラマダンへの対応
- ・保護者支援として英訳でのやり取り(お便りや通信票など)

⇒現在、約30名在籍。今後、**受入児童増加対応**の検討

⇒国見小学校**学区以外への展開**の検討

市内児童のグローバル教育の強化

- ・国際都市に発展していくためには、仙台のこどもたちが柔軟な思考や国際感覚を身に着け、自己実現を図っていくことが不可欠
- ・ALTを全小学校に配置するとともに、**小学校・中学校で一貫して学ぶ、英語を核とした新たな教科を設置し、グローバル化を推進**

インターナショナルスクールによる教育機能の強化

(現在)

- ・東北インターナショナルスクール(幼稚科～高等科 @泉区)
- ・ホライゾン学園仙台校(幼稚部～小学校 @泉区)

(近年の動き)

- ・2022年八幡平市にハロウスクール安比ジャパン(11歳～18歳)
- ・2023年柏市にRugby School Japan(11歳～18歳)

⇒既存の2校では不足、立地が泉区に偏在

⇒**市中心部にインターナショナルスクールの誘致が必要**

J M I P <外国人患者受入れ医療機関認証制度>

(Japan Medical Accreditation for International Patients)

- ◆ 国内の医療機関における外国人患者の受入れ体制を評価し、認証する制度
- ◆ 厚生労働省事業により構築され、日本医療教育財団が認証機関として運営を継承

年度	J M I Pを取り巻く動き
2010年度	・【新成長戦略】の一環として、医療の国際化推進の方針が閣議決定される
2011年度	・厚生労働省の有識者会議にて J M I P の制度が設計される
2012年度	・日本医療教育財団が J M I P 認証機関として制度運営を継承し、受審申込開始
2016年度	・【日本再興戦略2016】において、J M I P の認証病院拡大が目標に掲げられる
2013年度 ～現在	・厚生労働省にて、J M I P 推進のための補助金事業（外国人患者受入れに資する医療機関認証制度等推進事業）を継続的に実施するなど、J M I P をバックアップ

Japan Medical Service Accreditation for International Patients

⇒全国で69病院が認証されているが**東北地方にはない**

認証制度の 目的

外国人が安心・安全に国際的に高い評価を得ている
日本の医療サービスを享受することができる体制を構築する

JMIPにおける 外国人の定義

在留・訪日を問わず、すべての外国人を対象とする

- 日本国内に在住している外国人
- 観光・ビジネス等で日本を訪れた外国人
- 医療目的や健診目的で日本を訪れた外国人

対象医療機関

第三者機関による認証によって医療施設機能が評価されている病院

＜対象となる第三者認証＞ ※いずれか一つ

- ① 病院機能評価
- ② Accreditation Standards For Hospitals (JCI)
- ③ ISO 9001 / 14001
- ④ 臨床研修評価
- ⑤ 人間ドック健診施設機能評価

認証期間

有効期間 : 3年間 (※更新審査による認証更新が可能)

⇒東北大学病院が**東北初の認証**に向け、取り組みを進めている
⇒仙台市立病院も今年度、勉強会に参加

課題解決に向けた取り組み

「札幌市外国人医療受診サポート事業」概要（担当部署：札幌市総務局国際部国際課）

【目的】札幌市における今後の外国人の医療受診の支援のあり方を検討していくため、外国人のニーズや医療通訳ボランティア団体等の課題解決の一助とする。

【内容】外国人が安心してスムーズに医療へアクセスできるようにするため、医療機関の情報を提供し、予約の代行を行うとともに、医療通訳ボランティア団体(SCI・SEMIさっぽろ)とも連携しながら医療通訳者の派遣調整を行うことにより、医療機関の検索・予約・医療通訳派遣までをシームレスにサポートする。

SCI
(札幌中国語医療通訳グループ)

 **NPO SEMI Sapporo**
特定非営利活動法人 SEMIさっぽろ

委託事業者
※令和6年度は弊社（メディフォン）が受託

効果

令和4年度
利用件数見込み：25件/月
(事業仕様書より)



令和6年度
利用件数見込み：60件/月
(事業仕様書より)

札幌市内の外国人に対して、
①言語サポート、②医療情報提供、
③アクセス向上、④安心感の提供
につながったと考えられる

⇒仙台市も外国籍の住民ニーズを確認の上、考えていきたい



勾当台・定禅寺通エリア



仙台市役所新本庁舎整備
令和10年度供用開始予定



勾当台公園再整備
令和10年度供用開始予定（市民広場部分）



定禅寺通再整備
令和10年度完成予定



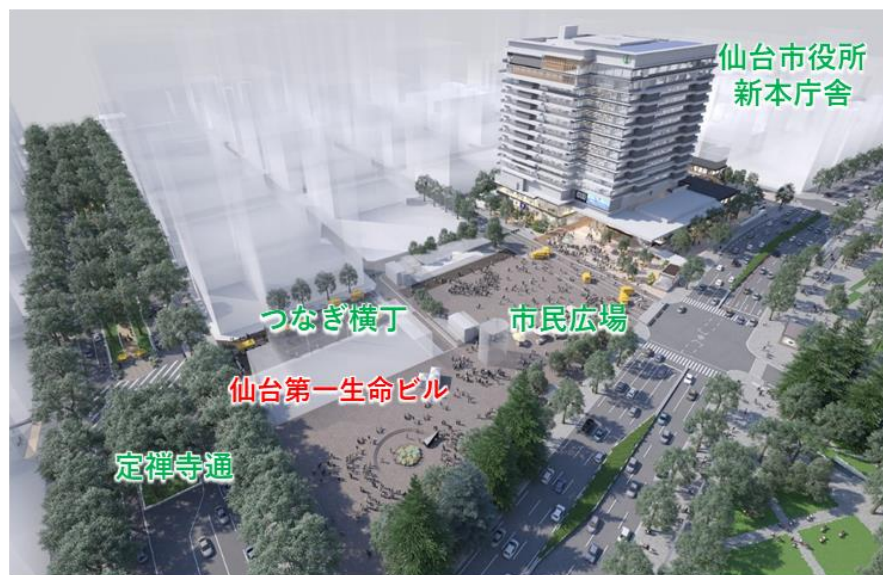
仙台第一生命ビル建て替え
令和10年度頃完成予定



出典：仙台市・第一生命保険株式会社

国際的な文化都市への変革②

50年から100年に一度の再整備



市民広場を中心とする重点ゾーン

新本庁舎と市民広場、定禅寺通、
周辺道路、民間施設がシームレス
につながる一体的空間を整備し、
商店街などと賑わいを相互に波及

都心における『交流』の核



国際的な文化都市への変革③

東北大学 サイエンスパーク構想



ヒト・モノ・カネを呼び込み、地域企業と連携し東北の新産業創出・事業展開と地域活性化を図る

出典：東北大学HP

リサーチコンプレックスの形成

ナノテラスを中核として、都心やサイエンスパークへ国内外の大学・研究機関や企業の研究開発部門の集積を促進



次世代放射光施設 「ナノテラス」

令和6年4月9日
本格運用開始

出典：一般社団法人光科学
イノベーションセンター



大手門復元

復元に向け
測量や調査
を実施



● 東北大学関連の取り組み

● 仙台市の取り組み

● 文化財・文化施設等

音楽ホール・中心部
メモリアル拠点複合施設
令和13年度供用開始予定

仙臺緑彩館

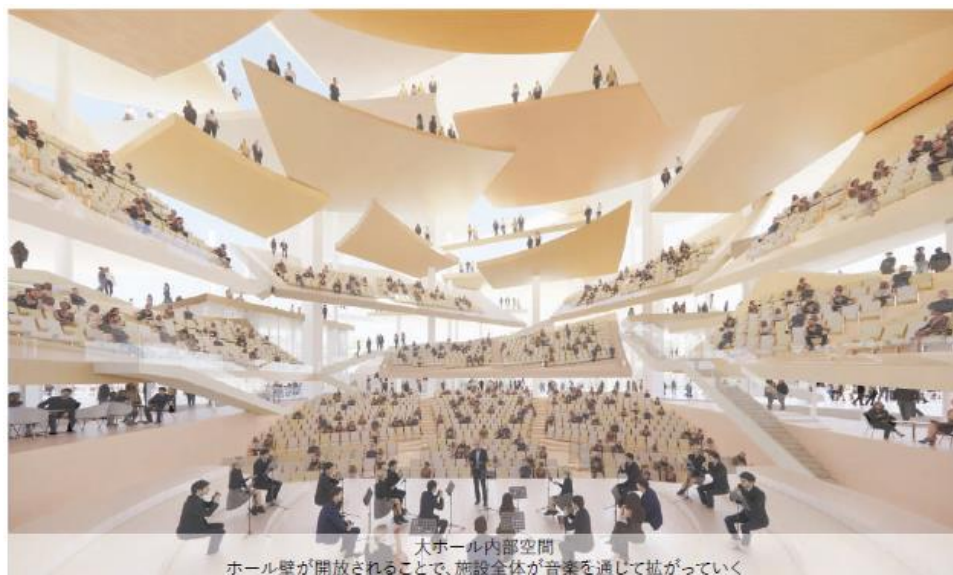
令和5年4月オープン



出典：仙臺緑彩館HP

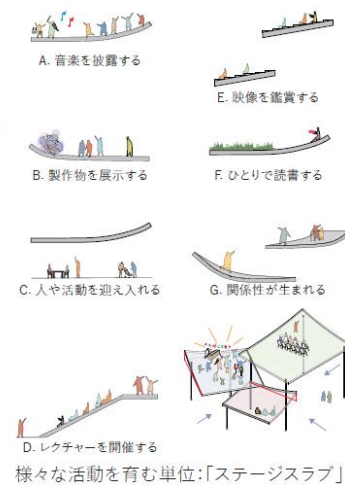
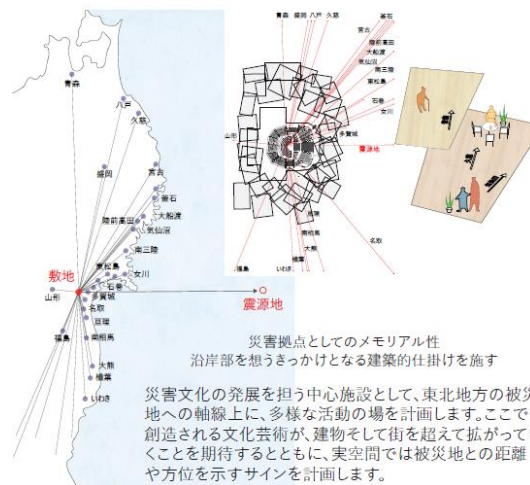


音楽ホール・中心部メモリアル拠点複合施設



多様な活動が共存し響き合う

ひとつのことを創り出し拡がる



国外転入手続きでの短縮の取り組み(2024年9月青葉区実証)

オンライン予約を活用した来庁者数の平準化や届出書の事前印字、デジタル翻訳ツール導入など

【使用した予約フォーム】

【仙台市】国外転入事前予約フォーム [City of Sendai]
Advance reservation form for those moving from outside Japan to Aoba Ward

以下の予約対象事項を了承する場合、全てチェックしてください*

- ☒ 転入者全員が外国籍であり、日本国籍ではない
- ☒ 日本国外から仙台市青葉区への転入であり、日本国内での転居等ではない
- ☒ 2024年9月25日（水）～2024年10月4日（金）の平日8日間のうち、8:30～16:00（30分単位）で予約する
- ☒ 予約した日時に仙台市青葉区役所9階の会場へ行くことができる

以下の免責事項に同意する場合、全てチェックしてください*

- ☒ 予約対象者ではない方が予約した場合、予告なく予約を取り消します
- ☒ 同一人物による二重予約があった場合は、予告なく古いほうの予約を取り消します

以下の個人情報利用方法に同意する場合、チェックしてください*

- ☒ このフォームに入力した個人情報、仙台市が住民登録手続き及び関連手続きに限り用いることに同意します

予約枠検索

検索

予約日*

10月4日（金）

予約枠*

15:30～16:00

予約者氏名（日本語または英字）*

Taro Sendai

メールアドレス*

tarosendai@test.com

電話番号

確認

【実際の窓口の様子】



⇒待ち時間を**平均26%短縮**、更なる短縮手法を検討
⇒次年度は、**全区対応可能な外国人住民登録センター**の実証へ

外国人住民と地域住民の交流

地域交流プログラム

学外の方との交流機会を提供するプログラムです。具体的には、地域で行われるイベントに参加するもの（お祭りでの民族舞踊や歌の披露、田植えや着物といった日本独自の文化体験 等）や、APUにいらっしゃる地域の皆さんと交流するもの（小学生への自国の文化紹介、多国籍の料理パーティー 等）があります。イベント内容にもよりますが、国内学生も参加可能です。



※立命館アジア太平洋大学のホームページより

学生の約半数が留学生である立命館アジア太平洋大学では地域交流の取組みに力を入れている

⇒同様の取組みを仙台市でもできないだろうか？

国家戦略特区制度を活用した在留資格に関する規制改革提案

2 高度外国人材の活躍促進に向けた在留資格の特例

新規提案



<提案の背景・課題>

- 外国人留学生について、週28時間を超える労働には一定の条件があることにより、十分な就職活動等の機会を提供できていない。また海外研究者等に帯同して来日する配偶者等についても、就労に当たって一定の条件があることにより、優秀な外国人材の家族ぐるみでの来日判断に影響を及ぼす。
- 「国際卓越研究大学」の構想実現に向けては、世界トップクラスの研究者獲得を推進していく必要があるところ、現行の在留資格制度に比して強力なインセンティブを設けることが重要。



<提案の概要>

- ① 在留資格「留学」及び「家族帯同」における週40時間（フルタイム）の労働について、国際卓越研究大学の留学生又は当該大学研究者の帯同家族であることを要件とした柔軟な運用を認めること。
- ② 在留資格「高度専門職1号・2号」におけるポイントに、国際卓越研究大学での研究従事又は卒業を要件として、加算措置を設けること。

➡高度外国人材が活躍しやすいビジネス環境の構築により、イノベーション創出を加速！

3

高度外国人研究者、家族の生活環境の整備④

(仮称) 一番町三丁目七番地区 第一種市街地再開発事業

令和11年より
順次供用開始
予定

出典：一番町三丁目
七番地区市街地
再開発準備組合
HP



ウッドライズ 仙台

令和5年11月
完成

出典：みずほ不動産投資
顧問株式会社HP



(仮称) 仙台中央三丁目PJ

令和7年3月
完成予定

出典：鹿島建設株式会社



アーバンネット 仙台中央ビル

令和5年11月
完成

出典：NTT都市開発
株式会社HP



仙台第一生命ビル

令和10年度頃
完成予定

出典：仙台市・
第一生命株式会社資料



オフィスビル：基準階専有面積200坪以上
(令和元年以降公表)
その他

旧さくら野地区



EDEN地区



それぞれの事業者
が開発を検討中

ヨドバシ第1ビル

令和5年6月供用開始



東北学院大学五橋キャンパス

令和5年4月供用開始



出典：学校法人東北学院HP

T-PLUS仙台

令和6年1月
完成

出典：東京建物株式会社
HP



東北大学と協調した地域創生のまちづくりの推進

国際的な教育
機関の整備

高度医療機関の
整備

国際的な文化
都市への変革

高度外国人の生
活環境の整備

次年度、市内外国人への悉皆の実態調査を実施

先端的国際都市・仙台を目指した新たなダイバーシティ推進の取組(例:ハウジングや銀行口座開設など)をさらに推進

学びたい

働きたい

住みたい

選ばれる都市・仙台へ

仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会国際卓越WG



例えば、解決手法として、産学官連携の枠組みを活用

大学、企業と連携して、先端的国際都市の実現に向けた、仙台発の新たな製品・サービスを産み出したい

08 国際卓越WGの創設について

- 本協議会では現在4つの分科会において先端サービス創出・規制改革に関する議論を深めており、脱炭素先行地域や自動運転をはじめ複数のプロジェクトが進行している。引き続き、社会情勢の変化やそれに伴うニーズの多様化を適切に捉え、柔軟に対応していく必要。

＜本協議会を取り巻く情勢＞

仙台市

世界の潮流を念頭に置き、国籍や年齢、性別、障害の有無など、多様性を力に変えることで、都市の包括的な成長の実現を目指す「ダイバーシティまちづくり」を進めることとしており、「(仮称)仙台市ダイバーシティ推進指針」の年度内の策定を予定している。



東北大学

本年11月、国内初となる「国際卓越研究大学」に認定。世界に伍する研究大学として、仙台・東北から我が国のイノベーションを牽引することが一層期待されるとともに、これに伴う海外研究者や留学生など高度外国人材の増加や関連企業の集積が見込まれる。



＜これらを踏まえた対応＞

- 本協議会としてこの変革の機会を捉え、新たに「国際卓越ワーキンググループ (WG)」を創設。ジェンダー・イノベーションや外国人受け入れ環境整備等の具体的な議論を深めることにより、ダイバーシティやグローバル化に対応する革新的なサービス創出を図る。
- 当面取り扱うテーマについては「ダイバーシティ」「グローバル」「その他最先端テクノロジーなど」を想定しており、既存分科会の領域にとらわれずに議論することが必要であることから、分野横断型のWGとする。(課題は産学官それぞれのプレイヤーから抽出することを想定)
- 年度内の進め方: 1/29 (水) 第1回…ダイバーシティ推進指針/国際卓越研究大学に関するインプット、具体的な課題感の共有
3月頃 第2回…第1回で提示した課題に係るディスカッション、専門的見地からのレビュー・追加インプット等



ご清聴ありがとうございました